

平成 28 年度 第 5 回大学地域連携強化プラン懇話会 会議録

- 日 時：平成 28 年 7 月 15 日（金）17 時 00 分 ～ 18 時 30 分
- 場 所：市民交流センター 5F 中議室
- 出席委員：小沢委員、加藤委員、肥塚委員、齋藤委員、武田委員、近清委員、
星野委員、堀江委員
- 事務局：山本理事（副所長）、相井参事、溝内参事、林沼主査
- 傍聴者：6 名

1 開会

【座長】

本日は（仮称）アーバンデザインセンターびわこ・くさつ（UDCBK）の事業の具体化について皆さんのご意見を頂きたい。

2 第 4 回会議録の確認

了承された。

3 （仮称）アーバンデザインセンターびわこ・くさつ（UDCBK）事業について

【事務局】

<資料 4 に基づき説明>

4 意見交換

【座長】

・ただいまの事務局からの説明について、ご意見を頂きたい。

【A 委員】

・運営スタッフは何名なのか。

【事務局】

・人数は規定せず、フレキシブルに考えている。

【B 委員】

・運営サポーターは大学からとしているが、何人を目標としているのか。

【事務局】

- ・まだ確定していない。
- ・包括協定を結んでいる 5 つの大学から参加してもらいたいと考えている。また、企業からも参加してもらいたい。

【座長】

- ・「アーバンデザインスクール」の修了者がスタッフとして関わってもらえるようにすると良い。
- ・平成 28 年度の事業で感触をつかみ、平成 29 年度から実施するのがよい。

【事務局】

- ・法人化するときには明確にしたいと考えている。

【C 委員】

- ・今の計画だと常勤の職員は休みが取れないのではないかな。
- ・運営サポーターはボランティアという位置づけか。

【D 委員】

- ・ボランティアでは誰も来ないのではないかな。

【事務局】

- ・法人化するまでは、草津未来研究所の事業として取り組むことになるため、人も交代して取り組む予定である。

【座長】

- ・人の配置は今後詰める必要がある。

【E 委員】

- ・運営スタッフとして位置付けられている人で、どの人が必ず UDCBK にいなければならないかが分からない。

【A 委員】

- ・常勤で事務を行う人と、そうでない人が整理できていない。

【座長】

- ・誰が何をするのかを明確にし、対応できる体制にする必要がある。

【B 委員】

- ・開館時間はどのように考えているのか。

【事務局】

- ・当初は、市の職員規定に基づき 10：00-18：15 と考えている。
- ・学生が立ち寄れる時間帯に開館することも考える必要があると思っている。
- ・次回の懇話会で、運営体制について明確にしたい。

【D 委員】

- ・今までの運営ワークショップでは女性が中心であった。次回は是非男性に参加していただき意見を出してもらいたい。

【F 委員】

- ・UDC の存在や実施する事業について、市民に広く周知する必要がある。広報についてはどのように考えているのか。

【事務局】

- ・多様な手段で情報発信していきたい。また、市民の代表である議会にも今後説明していく予定である。

【A 委員】

- ・2017 年度に法人化し運営していくには財源が必要であるが、いつめどをつけるのか。

【事務局】

- ・大きな問題である。市も負担するが連携事業であるので参加者にも負担をお願いしたい。
- ・今後、UDC の運営員会で議論していきたい。

【座長】

- ・参加者は、お金か人を負担する必要がある。

【A 委員】

- ・受け身の事業が多いのが気になる。市からこうしたいということを出す必要がある。

【事務局】

- ・運営委員会や懇話会で提案を頂きたいと考えている。

【座長】

- ・2017 年度以降にどのような事業をやっていくと良いのかアイデアを出していただきたい。

【D 委員】

- ・未来創造セミナーは引き続き実施していただきたい。

【F 委員】

- ・企業からの参加についてはどのように考えているのか。

【事務局】

- ・企業の様々なノウハウを生かし、市民や学生を活用できる取り組みをお願いしたい。例えば商品開発を行っていただくこともあってよい。
- ・プロボノのようなことも考えられるのではないかと。また、労働組合の方にも参加してもらいたい

【D 委員】

- ・子どもを相手に何かしてもらいたい。

【C 委員】

- ・商工会議所の青年部がかかわれるかもしれない。
- ・例えばキッズニアのようなものが考えられる。

【E 委員】

- ・ソーシャルキャピタルをあげていき、まちづくりに対して提案をすることが大事である。どのあたりでそのように持っていくかも考えていく必要がある。
- ・法人化された場合には、アイデアを形にして発表することが必要。

【事務局】

<資料 5 に基づき説明>

- ・UDCBK のパンフレットを作製した。意見を頂きたい。

【E 委員】

- ・イラストにあるテーブルに俯瞰的なイメージを入れると良い。

【事務局】

- ・事務局に 8 月中に意見を頂きたい。

【E 委員】

- ・現在、(仮称) アーバンデザインセンターびわこ・くさつ (UDCBK) となっているが、このままこの名称を使うのか。

【座長】

- ・名称と愛称はいつ決定するのか。

【事務局】

- ・名称については、次回の懇話会までに庁内で決定する。
- ・愛称については、今後公募してきたいと考えている。

【座長】

- ・それでは第5回懇話会はこれで終わります。

以上。